

アンドロイド版TRULINK4.0 アプリ操作ガイド

互換性のある製品: Halo 2、Halo RIC13、Halo BTE13

TruLink アプリの使用がサポートされているアンドロイド端末についての最新情報 www.TruLinkHearing.com をご参照下さい。TruLink アプリを使用する前に補聴器がプログラムされ、アンドロイド端末とペアリングされていることをご確認下さい。詳細は **アンドロイド端末で TruLink アプリを使用するために: 設定準備 QuickTIP** をご参照下さい

注意: アンドロイド端末でのオーディオストリーミングは現在対応しておりません。

リモート画面

補聴器のボリューム調整

1. 画面上のナビゲーションバーの「リモート」をタップします。
 - » **右のスライダー、左のスライダー**をそれぞれ指でスライドさせて、補聴器のボリュームを調整します。
 - » 「**スライドして調整**」を指でスライドさせて、両方の補聴器のボリュームを調整します。
 - » 「**ミュート（消音）アイコン**」 をタップすると、補聴器のマイクは ミュート（消音）の状態になります。

注意: リモート画面上の小さな**灰色の点**は、補聴器の基準のボリューム位置になります。

- » 「**スライドして調整**」部分を2回タップすると、基準のボリューム位置に戻ります。



リモート

補聴器のメモリー変更

1. リモート、パーソナル、TRT 画面右上の「**リストアイコン**」 をタップします。
 - » 販売店にて作成したメモリーは「**補聴器のメモリー**」に表示されます。
 - » サウンドスペースにて作成したメモリーは「**TruLink メモリー**」に表示されます。
2. 選択したい**メモリー名**をタップします。
3. 選択されたメモリーは、現在選択しているメモリーとして画面左上に表示されます。
4. メモリー作成についての詳細は、**パーソナルメモリーの作成**の項目をご参照下さい。



メモリー変更

快適性ブースト

快適性ブーストは、音質を最適化しつつ騒々しい環境のノイズを積極的に低減させます。快適性ブーストは、初期設定では無効になっています。

快適性ブーストの表示: 画面左側の「リストアイコン」を選択後、「設定」をタップし、「快適性ブースト」を右にスライドして、有効にします。リモート画面に戻ると、「快適性ブーストアイコン」(図赤丸)が表示されています。

快適性ブースト機能の有効/無効: 快適性ブースト機能を有効/無効にするには、リモート画面上の「快適性ブーストアイコン」をタップします。

注意: 次の場合、快適性ブーストは自動的に無効になります。

- » メモリー変更時
- » プログラミングセッション（サウンドスペース含む）の実行時



快適性ブーストアイコン

パーソナルメモリーの作成

ユーザーは販売店できこえの専門家が作成したメモリーを基にTruLink アプリを使用して、メモリーをカスタマイズすることが出来ます。ユーザーは「サウンドスペース」と「ノイズマネージャー」を使用してメモリーをカスタマイズすることができ、だけでなく、位置情報を使用した「ジオタグ」機能を使用することも出来ます。

1. 新しいカスタムメモリーを作成するために、リストアイコンにて**現在の聴取環境に一番適したメモリー**を選択します。選択したメモリーは、パーソナルメモリーを作成する上でのベースラインとして機能します。

注意: 補聴器メモリーまたはサウンドスペースにて作成したTruLink メモリーをパーソナライズするには、メモリー名の横にある「ペンシルアイコン」をタップします。

2. 画面上のナビゲーションバーの「パーソナル」をタップします。
3. 「カスタムメモリーを作成」をタップします。
4. ユニークなメモリー名を入力し、「続く」をタップします。
5. 「サウンドスペース起動」をタップすると、低音・高音の調整が出来ます。「ノイズマネージャー」をタップすると、補聴器のマイクの指向性、風切り音、騒音、人混みの中での会話を調整することが出来ます。詳細は、「サウンドスペース」または「ノイズマネージャー」をご参照下さい。

サウンドスペース

サウンドスペースでは、ユーザー自身の音の好みや環境に合わせたカスタムメモリーを作成することが出来ます。

1. 「サウンドスペース起動」を選択後、**青色の●**を指で動かします。補聴器の音質は一時的に変更され、様々な音質を試すことが出来ます。
2. 好みの音質が見つかったら「完了」をタップし、新しいメモリーとして保存するためにメッセージに従い「OK」をタップします。
3. 「メモリー位置」を選択肢、メモリーにジオタグを割当てます。詳細については、下記**ジオタグ**の項目をご参照下さい。
注意: メモリー位置は「位置が割当てられていません」と表示されています。これは、現在の位置にジオタグが登録されていないことを意味します。



サウンドスペース

ジオタグ

ジオタグを使用すると、マップ上の場所にメモリーを割り当てることが出来ます。ユーザーは、割り当てた場所から 100m 以内に入ると、TruLink アプリはその場所で登録したメモリーに自動的に切り替わります。

1. 「メモリー位置」を選択後、画面上部キャンセルの右側に**ジオタグ**と表示されている確認します。
2. 「ロケーションマーカー」アイコン をタップまたはジオタグピンを設置したい場所を指で長押しします。
3. 「保存」を選択します。
4. 「メモリー位置に割当て済みジオタグ」と表示されます。ユーザーは割当てた場所に訪れると、自動的にその場所に割当てたメモリーに切り替わります。

ジオタグの削除: 「メモリー位置:割当て済みジオタグ」を選択後、「ロケーションマーカー」 アイコンをタップし「保存」を選択します。



ジオタグ

ノイズマネージャー

ノイズマネージャーはパーソナルメモリーでの補聴器のマイクの方角、及び風切り音、騒音、人混の中での会話での設定を調整することが出来ます。これらの機能は、様々な騒音環境において聞こえの快適性と言葉の明瞭性のバランスをとるために使用します。ユーザーは、騒がしい場所でこの機能を有効にすることで、設定の違いを聞きわけることが出来ます。

1. 「ノイズマネージャー」をタップした後、画面を右から左へスワイプすると、「指向性」、「風があるところで使用」、「騒音下で使用」、「人混の中で使用」を選択することが出来ます。
2. **指向性:** この機能を調整することで、補聴器のマイクが音を拾う場所にフォーカスをあてることが出来ます。シミュレーションアイコンをタップして、次の中から適切な指向性を選択します:
 - 》**アダプティブ:** 無音とする角度を自動的に移動させることで、あらゆる角度からの音声を保護します。
 - 》**ダイナミック:** 環境に応じて自動的に指向性と無指向性に切替えます。
 - 》**無指向性:** 応答は無変化; あらゆる角度からの音声を均一に増幅します。
 - 》**指向性:** 応答は無変化; ハイパーカーディオイドのポーラーパターンを使用して、後方からの音よりも前方からの音を増幅させます。
3. **風があるところで使用:** この機能は、風切り音が発生する環境下で快適性を向上させるように設計された機能です。風切り音が煩わしく感じるときにこの機能を調整してください。レベルが上がるほどノイズ抑制機能が働きます。
 - 》レベルを上げると、快適性が増します。
 - 》レベルを下げると、雑音抑制力が減少します。
4. **騒音下で使用:** この機能は、機械音のような騒音がある環境下で快適性を向上させるために設計された機能です。例えば、掃除機や扇風機、機械のモーター音などが煩わしく感じるときに、この機能を調整して下さい。
 - 》レベルを上げると、快適性が増します。
 - 》レベルを下げると、騒音抑制力が下がります。
5. **人混の中で使用:** この機能は、背景に雑音がある環境下で会話をするときに、快適性を向上させるために設計された機能です。背景雑音が邪魔をしている環境で会話が聞き取りにくいときに、この機能を調整して下さい。
 - 》レベルを上げると、快適性が増します。
 - 》レベルを下げると、雑音抑制力が減少します。
6. 変更は自動的にリアルタイムで補聴器に保存されます。



補聴器マイクの指向性



人混の中での使用

メモリー概要

メモリー概要では、各メモリーに設定されているすべての機能の詳細を一目で確認することが出来ます。

1. 「リストアイコン」 をタップします。
2. 「メモリー概要」をタップします。
3. すべてのメモリーと、各メモリーで有効になっている機能が表示されます。
4. メモリー名をタップすると、ジオタグの割当てとメモリーの説明文（TRT、ジオタグを含む）を見ることが出来ます。
5. 画面右上の「マップアイコン」 をタップすると、メモリー位置にて、ジオタグピンを設置した場所を確認することが出来ます。

電話

補聴器を通話に適したメモリーに自動的に切換えてくれるように構成することが出来ます。アンドロイド端末を使用して電話を発信または受信したとき、TruLink アプリは通話用に選択されたメモリーに自動的に切り換ります。

1. 通話用に使用したいメモリー名の横にある「ペンシルアイコン」 または通話用に使用したいメモリーをサウンドスペースにてカスタマイズします。
2. 「自動切換メモリー」を選択します。
3. アンドロイド端末を使用して電話を発信または着信されたときに予め設定されたメモリーに自動で切換えるために、「通話」の横にあるスライダーを左から右にスワイプして機能を有効にします。注意: アンドロイド端末は音声通話を補聴器にストリーミングしません。この機能は、アンドロイド端末が通話に使用されたと認識されたときに補聴器のメモリーを設定したメモリーに切換える機能になります。

自動車専用メモリー

アンドロイド端末が時速 16km 以上の速度で走行していることを検出した時に予め設定したメモリーに自動的に切換えるよう設定出来ます。

1. 「リストアイコン」 をタップします。
2. 自動車専用メモリーに使用したいメモリーの「ペンシルアイコン」 をタップ、またはサウンドスペースにて新しいメモリーを作成します。

注意: 使用するメモリーは自動車メモリーです。Inspire にて自動車メモリーを作成していない場合は、混雑、屋外またはカスタムメモリーを使用します。

3. 「自動切換メモリー」をタップします。
4. 「自動車」の有効/無効スイッチを右にスライドして有効にします。



メモリー概要



通話・自動車メモリー

TRT

耳鳴り専門家は、補聴器の TRT 機能を有効にすることが出来ます。

ユーザーは、耳鳴りの専門家が Inspire で TRT 機能を有効にしたメモリーまたはそのメモリーを元に作成したカスタムメモリーの耳鳴り治療音 (TRT) の音量や波の速さを調整することができます。すべてのメモリーで TRT 機能が無効に設定されている場合、TRT 画面は表示されません。

注意: TRT 機能が無効のメモリーを選択した上で「TRT」を選択すると、画面上に耳鳴り専門家に相談するよう注意を促す文章が表示されます。

TRT が有効になっている適切なメモリーを選択した上で、画面上のナビゲーションバーの「TRT」をタップして下さい。

耳鳴り治療音 (TRT) 調整

1. 「TRT」をタップすると、**ボリューム画面**が表示されます。
 - » **右または左のスライダー**をそれぞれ指でスライドし、片耳のみの耳鳴り治療音 (TRT) の音量を調整します。
 - » 「**TRT 調整スライド**」を指でスライドし、両耳の耳鳴り治療音 (TRT) の音量を調整します。

注意: スライダー部分の小さな灰色の点は、耳鳴り治療音 (TRT) の基準のボリューム位置となります。画面上の「**スライドして TRT レベルの調整**」を2回タップすると、基準のボリューム位置に戻ります。

耳鳴り治療音 (TRT) の波の速さ

1. 「**スピード**」をタップします。(右側補聴器のボリューム調整スライダーバー上部にある「**ボリューム**」を選択し、ドロップダウンリストから「**スピード**」をタップして下さい。)
 - » **0、1、2、3**をタップして、両耳での波の速さを調整します。
注意: 「0」の波は一番遅く、「3」の波は一番速い波になります。
2. 「**左/右表示**」を有効にすると、左右それぞれの波の速さを調整出来ます。



TRT ボリューム



TRT スピード

設定

TruLink アプリ上のリストアイコン  から設定にアクセスします。

デバイス設定の**情報**に含まれるもの:

- » 説明書
- » ヘルプ
- » 概要
- » ご意見

デバイス設定の**機能**に含まれるもの:

- » 補聴器を探す
- » 快適性ブースト(快適性表示)
- » 呼び出し音(補聴器お知らせ音再生)
- » デモモードを保持

設定、情報、機能についての詳細は **アンドロイド端末で TruLink アプリを使用するために: 設定準備 QuickTIP** をご参照下さい

。



設定